



考えるきっかけに

私の学年の中での仕事は進路部なのであるが、自分としては、今一つこの仕事にピンと来ていないところもある。というのも、進路なんて、結局は自分自身でしっかり決めなければならないものだと思うからである。どんなに模試の成績が悪くても、受きたい大学があればそこを受ける。どんなに親が反対しても、やりたいことがあればそれを貫く。目の前に困難があるのなら、その解決法を自分で見つける…。進路決定とは（あくまで理想ではあるが）そういうものだろうと思うし、全てはその進路を選んだ人自身の問題であって、端から（先生が…笑）とやかく言う問題ではないと思うからである。

ただし、そうは言っても、様々な情報を提供したり、考え方を示したり、新しい見方を紹介したりと、それなりに君たちが考えるきっかけを与えられるようには努めているつもりである。相談にも乗るし、蓄積された過去のデータを紹介したりもするし、保護者と君たちとの架け橋？になるように努めることもあるだろう。

しかし、繰り返すが、今度の進路選びは君たちの将来と密接に結びつくのだから、どうか人に頼ることなく、自らの意志でしっかりと選び取ってもらいたいと思う。明日の学級タイムに「進路通信」を配布するが、そこには大学生の就職に関する情報を載せてある。その中で、就職の専門家は、「自分はどうして仕事をするのか」ということをしっかり考えることが、成功する就活のスタートである

と述べている。君たちが進路を考える際にも、「自分はどのような生き方をしたいのか？」とか、「自分にとって仕事はどういう意味をもつのか？」「その仕事につくためにはどういう大学進学が前提とされるのか？」といったことを、やはり一度は真剣に考えた方がイイと思う。そして、こういうことは一度では結論が出ないわけだから、常に頭の片隅においておいて、きっかけがあったら友だち同士で話し合ってみるとか、興味のあるニュースや記事があったら注目してみるとか、人の話が気になったら耳を傾けてみるとか、いろいろやってみることが大切だろう。

*

大学のオープンキャンパスに参加することも、いろいろな局面をたぐり寄せてくれるきっかけになる。

8月7日（水）・8日（木）には、東大のオープンキャンパスが予定されている。参加するためには事前の申込が必要で、その申込が明日（26日）の18:00～である。パソコンまたはスマホから東大オープンキャンパスのサイトにアクセスして申し込むことになるのだが、興味のある人は試しにアクセスしてみるといい。大変な回線の混雑ぶりに驚くくらいではない。（最低限、あらかじめ下記にアクセスしてブックマークしておくこと！）

何ごととも行動である。「この大学に行ってみよう！」と思ったことがきっかけで、自分のやりたいことが見えてくることもある。一歩ずつ進路のことも考えよう。